～挨拶いっぱい　笑顔いっぱい　ワクワクいっぱい　白石小学校～

マスク・手洗い・換気！　改めて用心！

白石小学校だより

山口市立白石小学校
第 8号
２０２０.１１.１発行

雨あがりの日

雨あがりの日は最近お気に入りの曲『虹』「庭のシャベルが一日ぬれて♪」が頭に浮かんできます。大好きな雨あがりですが運動場にかなり広い水たまりができます。

次のような「校内放送」が流れます。

① **♪児童のみなさん！今日は運動場がでこぼこになるので、運動場は使えません。教室で静かに遊びましょう♪　→残念だけど…仕方ないなぁという表情・・・**

子どもたちにとって、「ルールを守る」という習慣づけでもありますが、あきらめるという心の練習でもあります。どちらも大切な訓練です。また、運動場がでこぼこになるという根拠とセットで考えさせたり、気づかせたりすることも大切にしたいところです。

同じ雨上がりですが、こんな放送が流れるときもあります。

② **♪児童のみなさん！運動場に大きな水たまりがあります。運動場がでこぼこになるので水たまりの近くに入らないようにして遊びましょう♪　→やったぁ！と歓声！**

この放送があると多くの子どもが歓声をあげ喜びます。

ただ！水たまりをさけたら遊んでもよいという判断を知らせることでもあります。先々都合よく解釈できることでもあり、教育の出番も次々と出てきます。当然手間も時間もかかります。「遊んだ後、運動場がで大丈夫だったか見ておいてね！」とか、「運動場がでこぼこになっているので、どうしたらいいかなあ？」のひと手間がいります。(遊びに夢中で、なかなか難しいのですが・・・)

きちんと困る、きちんと失敗する、きちんとその始末をする、そうしてこの次はどうしたらいいかを一緒に考えて自分ゴトにしてやりたいものです。状況を見に行って、運動場整備をすることもいいでしょう。どんなアナウンスをしたら足あとが少なくなるのかを考えるのもいいでしょう。「大人でも意見が分かれて、困るんだよね」と考えさせるのもいいでしょう。一つの判断にさまざまな背景があることを慮る経験にもなります。

日々の生活の中には、「どうしたらいいと思う？」は、たくさんあります。でも私たちは、つい子どものためにと、「〇〇した方（しない方）がいい」と声をかけてしまいます。極端な例ですが、与えられることに慣れ、与えられたことだけをし続けると、やがて、誰かのせいにしないとやれなくなってしまいます。時に「自分で考え！自分で決める！結果に責任を持たせる！」ちょっと厳しい経験を適度に積み重ねてやりたいですね。

ちょっと厳しい経験は、子どもたちの未来を、「きっと明日はいい天気♪」(『虹』の歌詞)にしてくれそうな気がします・・・。

朝夕すっかり冷えてまいります。皆様ご自愛くださいませ。

校 長　藤 永　靖 彦